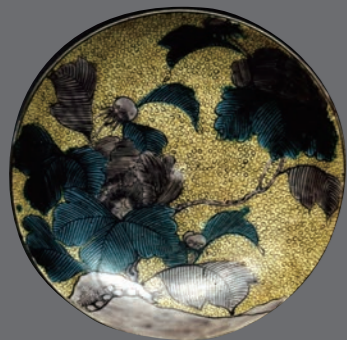


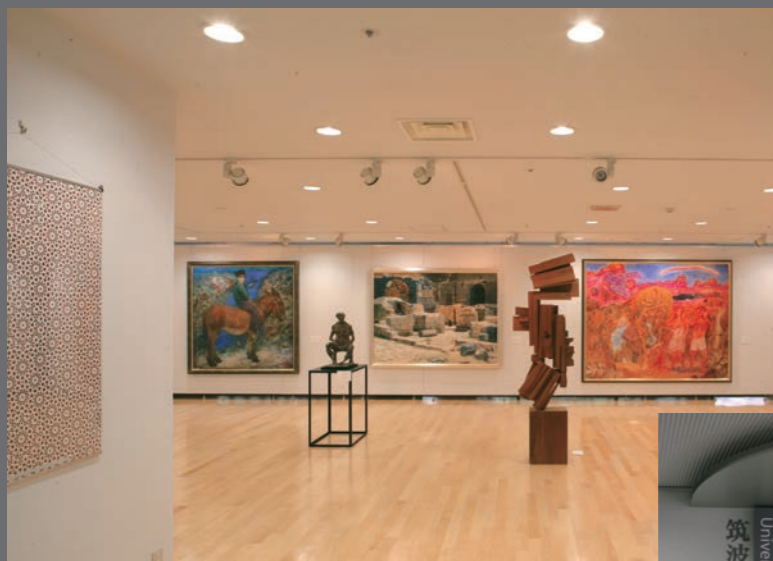
## 筑波大学アートコレクション University of Tsukuba Art Collection

石井昭氏寄贈  
Gift of Mr. Akira Ishii

筑波大学は、2005年から2010年に石井昭氏(株式会社図書館流通センター元会長)から絵画・版画・陶磁器等、相当数の寄贈を受けました。その一部を筑波大学アートコレクションにおいて常設展示し、教育研究に活用させていただいています。地域の皆様もぜひ創造と造形の美をお楽しみください。



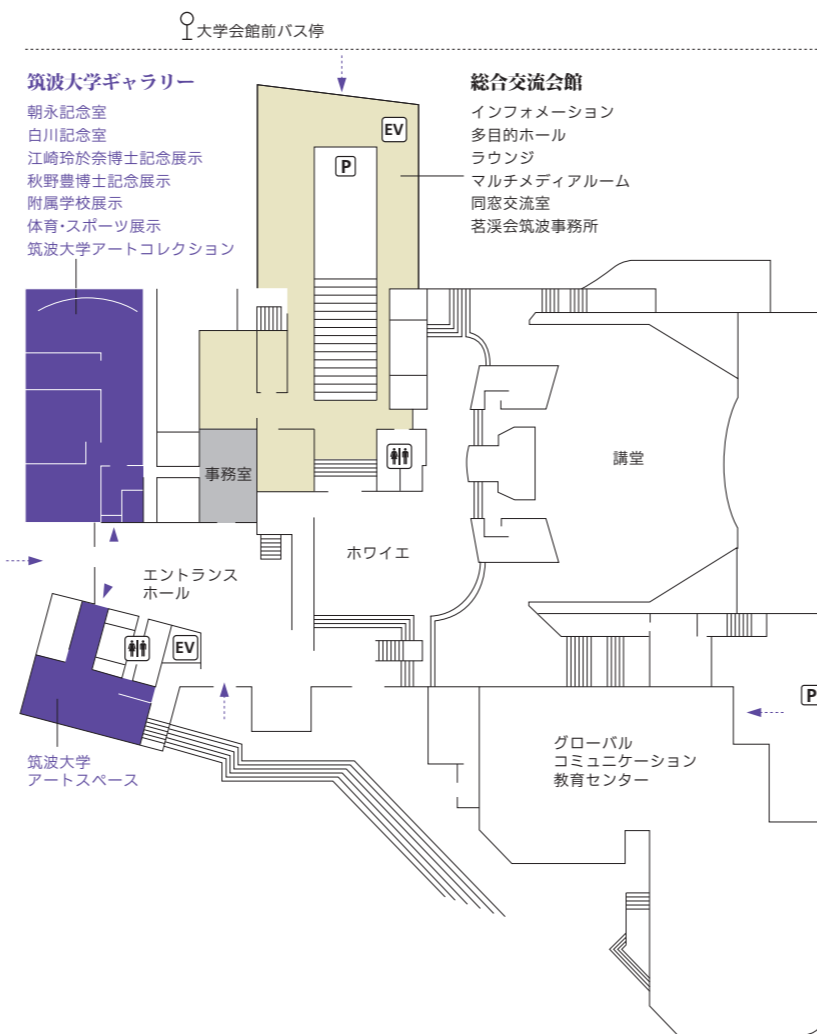
## 筑波大学アートスペース University of Tsukuba Art Space



筑波大学アートスペースは、筑波大学で育まれた豊かな感性と知性、崇高な創造の発表の場として、また、国内外の優れた作品や郷土茨城の作家たちの作品を紹介しています。



## 大学会館平面図(2F)



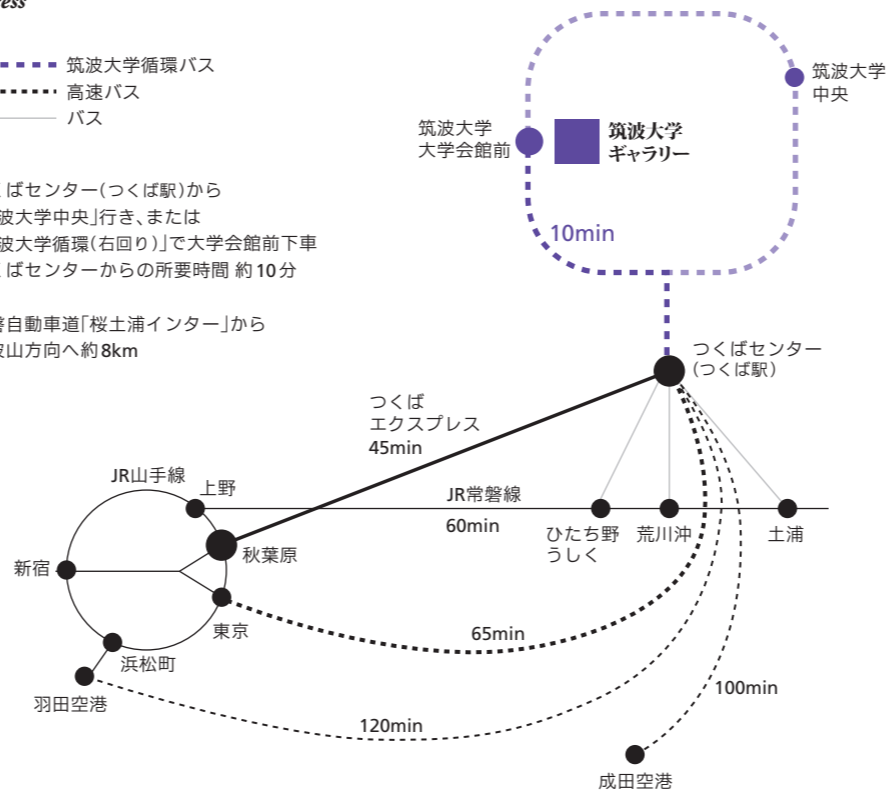
## 交通アクセス

### Access

- 筑波大学循環バス
- 高速バス
- バス

つくばセンター(つくば駅)から  
「筑波大学中央」行き、または  
「筑波大学循環(右回り)」で大学会館前下車  
つくばセンターからの所要時間 約10分

常磐自動車道「桜土浦インター」から  
筑波山方向へ約8km



# University of Tsukuba Gallery

# 筑波大学ギャラリー



「筑波大学ギャラリー」は、  
本学の歴史資料や芸術作品等を展示し、  
「総合交流会館」と合わせて、  
広く社会に向けた情報発信と、皆様との  
交流の場とするためにつくられました。

9:00-17:00 [休館/日曜 年末年始]  
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/institution/gallery.html>  
Tel. 029-853-7959  
茨城県つくば市天王台1-1-1 ☎305-8577



# 筑波大学への誘い

筑波大学は、1973(昭和48)年10月、東京教育大学の移転を契機に「教育と研究の新しい仕組み」、「新しい大学自治」、「開かれた大学」を特色とする新しい構想に基づき、筑波研究学園都市の中核的機関としての役割も担って創設されました。開学以来、大学改革の先導的役割を果たしてきた本学は、1872(明治5)年に発足した

師範学校以来の伝統を受け継ぐ、我が国教育の歴史を誇る大学でもあります。本展示室では、広く社会の皆様にも本学の歴史と伝統に触れていただくことを目的として、その代表的な資料を常設展示しています。



## 朝永記念室

*Tomonaga Memorial Room*

朝永振一郎博士は、1906(明治39)年生まれの物理学者であり、筑波大学の前身である東京文理科大学と東京教育大学で、黎明期の素粒子物理学の研究に従事しました。戦中・戦後の困難な時代に、超多時間理論とくりこみ理論を建設して光と電子の相互作用を解明しました。1965(昭和40)年にはこの功績によりノーベル物理学賞を受賞しています。また博士は、東京教育大学の学長ならびに附属光学研究所長を務めました。朝永博士の指導下に育った研究者たちは物理学の研究を大きく発展させ、その系譜は筑波大学へと引き継がれています。



## 朝永振一郎博士記念展示

*Dr. Sin-itiro Tomonaga Memorial Exhibition*



## 体育・スポーツ展示

*P.E. and Sport Exhibition*

筑波大学は前身校からの長い歴史の中で、数々のスポーツ選手を輩出してきました。日本初のオリンピック出場選手、日本最多のメダル保持者や金メダリストを始めとする日本屈指のオリンピック選手たち、また、筑波大学ならではの多岐にわたるスポーツにチャレンジしているアスリートたちの輝かしい軌跡を紹介します。



## 秋野豊博士記念展示

*Dr. Yutaka Akino Memorial Exhibition*

秋野豊博士は、1998(平成10)年にタジキスタンで国連政務官として平和維持活動中に凶弾に倒れました。東西冷戦終結後のユーラシア大陸をくまなく歩き、現実世界と学問との接点を見つめながら、同地域の安定に向けた政策提言を国内外に発信した国際政治学者でした。博士のスポーツマン精神に則った人柄や次世代教育に情熱を燃やした姿は、今もなお多くの若者を鼓舞し、影響を与え続けています。



## 白川記念室

*Shirakawa Memorial Room*

白川英樹博士は、2000(平成12)年に導電性高分子の発見と開発の業績によりノーベル化学賞を受賞しました。少年時代に身近な自然現象に興味を持ち、その中から高分子化学の研究を選んだ白川博士は、偶然見出した現象を世紀の大発見に結びつけました。セレンディビティとそれを見逃さない能力により導電性高分子を発見したのです。

## 白川英樹博士記念展示

*Dr. Hideki Shirakawa Memorial Exhibition*



## 江崎玲於奈博士記念展示

*Dr. Leo Esaki Memorial Exhibition*

江崎玲於奈博士は、1973(昭和48)年トンネルダイオード発見の業績によりノーベル物理学賞を受賞しました。日本で、そしてアメリカで、企業の研究者として、現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学の新しい分野を切り拓きました。1992(平成4)年アメリカから帰国、6年にわたり筑波大学の学長を務め、新時代を担う新しい大学づくりに取り組みました。

## 附属学校展示

*Laboratory Schools Exhibition*

筑波大学には現在11校の附属学校があります。通常の小・中・高等学校から特別支援学校まであらゆる種類の附属学校があるのは全国でも筑波大学のみです。それぞれの学校が日本の教育界でリーダーシップを取っており、グローバル人材の育成を行っています。

